

目標達成計画

事業所名: グループホームほほえみの家

作成日: 平成 27年 5月 27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の定期的な開催とともに、議事録の工夫が期待される。また、内容を職員が共有することもサービス向上には欠かせない取り組みである。議事録は家族へ配布し事業所内にも設置しているが、個人情報に配慮したものとなるよう期待する。	今年度は6回開催予定とし、毎月お送りするほほえみ通信に推進会議の日時を記入し、より一層多くの家族様に参加していただけるよう呼びかけるようにする。個人情報に配慮し、議事録の記載に注意する。	運営推進会議での評価結果を報告し、その内容についての話し合い、家族の方や町内会長さん、民生委員、包括支援センターの方々に意見を聴き、ホーム側より積極的に声掛けを行い、個人情報を重視し、今後も協力をお願いする。	1ヶ月間
2	5	職員が実践者研修などの外部研修で学ぶ機会があるが、共有のための伝達研修は今後の課題となっている。身体拘束をしないケアを推進するために理学療法士や福祉用具などの専門職の助言を受けているが、継続した取り組みが期待される。	外部研修やホーム内勉強会を行い、積極的に研修をしてもらう。	外部研修やホーム内での勉強会を行い、その研修したことをホーム内で発表してもらう。定期的によりハビリ専門職の方に来所していただき、実技指導や講義などをしていただく予定である。	3ヶ月間
3	9	MDS方式のアセスメントなどに利用者の気持ちなどの記載があるものもあるが、気持ちを表現するのが難しい利用者も含め、全利用者に対する意向把握の取組みと記録が期待される。	今後、担当者会議を行い、症状に変化があった場合など直ぐにアセスメントを行い、職員間で共有し、利用者に対して、安心した生活を送っていただく。	毎月アセスメントを行い、担当者会議を開催し、介護計画書短期目標3ヶ月、長期目標を6ヶ月とする。	3ヶ月間
4	10	計画は職員も参加し作成しているが、計画に従って実施したケア内容が日々の記録として残っていない。モニタリングの精度を高めるためにも、ケアの実施状況と利用者の様子も含めた記録の方法に工夫が期待される。	生活記録を変更し、毎日利用者の姿がわかるように記載し、計画に沿って実施する。	毎日の記録をA4紙1枚とし、日々わかりやすいように記録していく。	1ヶ月間
5	12	事業所としての重度化や終末期に向けた方針等は策定しておらず、契約時に個別に口頭で説明しているケースもある。しかし全員に対し意向を伺う機会や、事業所の方針を説明し、時々に応じた支援を行っていく事が期待される。	重度化した場合の指針に同意書をいただき、その際には説明をする。	現在家族様より、同意書にサインしていただき、今後のことを話し合い、すぐには答えを出せない家族様もいることから、その時々において相談し合っている。	2ヶ月間
6	13	避難訓練の経験がない職員が殆どのため、訓練を実施することや手順の確認が急務となっている。地域への訓練参加の呼びかけや避難先の確認、備蓄品の準備などを計画的にすすめていくことが期待される。	年2回訓練とする(6月・10月) H27年6月16日避難訓練予定(夜間想定) 備蓄品リストをあげている。	6月15日訓練予定しているので、職員に避難の仕方や避難場所などの確認、地域の方々の協力をお願いした際の見守り等を再度皆で確認する。備蓄品を徐々に用意する。	1ヶ月間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。